

第10回 利根川上流域大規模氾濫に関する減災対策協議会 議事概要

実施日：令和6年6月19日(水)

開催状況：Web会議方式

(1) 協議会議題

- 1) 規約の改訂
- 2) 令和6年度の取組方針について
- 3) 令和5年度の取組事例について
取組事例の紹介

(2) 協議内容

- 1) 規約の改訂
構成員の所属、所属部署名及び担当者の変更等による改訂案を提示し、了承が得られたため、令和6年6月19日付けで改訂とする。

- 2) 令和6年度の取組方針について

令和6年度の取組方針 (案)

今後も水防災意識社会の再構築を目指し、57の取り組みを継続していく。

- ・今回のフォローアップ調査にて聞き取りを行った「優先する取組み」について、各機関において着実にメリハリをつけて取り組み、主に質的向上を図る。
- ・各機関における取組みの支援のため、先進的に取組みを行っている機関と、取組みに関して課題を抱えている機関のマッチングを行い、意見交換等を行っていく。
- ・令和5年度の重点的に取り組んできた「No.36 教員を対象とした講習会の実施」、「No.22 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進」については、引き続き、進めていく。
- ・協議会・幹事会の場だけでなく、ポータルサイト等を活用して随時、最新の優良事例を共有していくことで、各機関の取組みの推進を図る。

令和5年度フォローアップ調査結果

- ・57の取組みに対し、殆どの機関では継続し実施している。
- ・優先的に実施すべき取組みについては、「広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知」「教員を対象とした講習会の実施」の取組み状況が低調であり、各機関において取組みを進める必要がある。
- ・質的向上を図る必要のある取組みについては、他機関の取組み事例を参考に実効性のある取組みに着手する必要がある。
- ・進捗率向上を目指す取組みでは、民間企業が実施主体となる、「大規模工場の避難計画の作成及び訓練の促進」「水害に対応した企業 BCP 策定への支援」の取組み状況が低調。

令和5年度の重点的な取組み

- ・水防災教育促進に向けた意見交換会を開催し、10自治体の防災部署・教育部署職員が参加。
- ・要配慮者利用施設について、避難計画は作成されているが訓練の取組みが進んでいない状況であり、関東地方整備局において「避難訓練の支援ツール」を作成し、説明会を実施した。

第2期後半で優先する取組み

- ・「逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動の為の取組み」に注力する。
- ・「防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配付」について、情報伝達の多重化・多様性を図る発信方法を進めている自治体もある。他市町の事例を取り入れながら進めていただきたい。

野木町 真瀬町長コメント

- ・今年度、全町をあげて避難訓練を実施する予定であり、改訂したハザードマップが全町民に認知されているかを検証するには、行政の発信力が重要と再認識した。取組方針に沿って取組を進めることを決意するとともに、他市町の情報なども有効に活用し、町民に伝えたい。
- ・渡良瀬遊水地を有する町としては利根川本流の安全が町の安全に影響するので、連帯感をもって流域治水に取り組んでいきたい。

3) 令和5年度の取組事例について

代表構成員からの取組紹介

板倉町：板倉町洪水時住民避難計画の策定及び避難計画の実施、防災教育の充実

幸手市：防災士と防災担当職員が連携した防災研修

柏市：災害情報共有システム

(3) 情報提供

- ・気象庁東京管区气象台
線状降水帯の予測精度向上に向けた取組（情報の改善）
- ・利根川上流河川事務所
要配慮者利用施設の避難確保の取組について
ワンコイン浸水センサ実証実験
流域タイムラインの運用について
災害発生時における自治体支援

以上